

「坂戸市子ども読書活動推進計画(第三次)(平成28年度～平成32年度)」事業実施状況調査結果

計画期間における指標や事業の実績等一覧

記入日: 令和2年10月
(図書館分については、令和2年10月～令和3年1月)

第2部 各論
第1章 家庭・地域、学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

推進の柱	小柱	No.	計画掲載頁	具体的な施策	所管・関連部署	事業名	事業の概要
1 家庭における推進		ア	6	保護者自身も読書に親しみ、家族で読書の時間を共有するなどして、家庭内での読書の雰囲気づくりに努めます。	図書館	読書啓発事業(おはなし会、テーマ展示、リサイクル市・児童文学講演会等の実施)	各種おはなし会や児童月別展示等を実施し、家庭でも読み聞かせや読書を推奨している。リサイクル市による本の提供。児童文学講演会等を開催し、読書活動を啓発している。
		イ		胎児に良い影響を及ぼすとされる妊婦の音読を奨励します。	図書館 市民健康センター	/	/
		ウ		乳幼児期においては、家族による絵本などの読み聞かせを習慣的に行うよう啓発します。	図書館	ちいさい子のおはなし会 赤ちゃん絵本広場 出前講座(子どもの本の選び方与え方、出張おたのしみ会)	赤ちゃんのこぼれや心を育むために、絵本の読み聞かせや手あそびを通して、親子のふれあいを大切にすることを知らせてもらう。絵本を通して保護者と赤ちゃんがふれあい、楽しい時間を過ごしてもらうことを推奨する。幼児期の発達に合わせた絵本の紹介、読み聞かせ方。
					保育課	-	機会がある度に、家族による絵本などの読み聞かせを習慣的に行うよう啓発します。
		エ		幼児から小学生のいる家庭に、家族でお話会等の行事への参加を促進します。	図書館	子ども読書の日のイベント 春の図書館まつり 夏の図書館まつり 秋の図書館まつり 各種おはなし会	おはなし会等の行事やこどもの読書週間、秋の読書週間に合わせた親子で楽しめる読書啓発事業について企画し広報する。
					保育課	-	特段、保育園において事業は実施していませんが、図書館からのチラシの設置等の協力を実施しています。
					子育て支援課	お話会等周知	児童センター等にて、お話会等を周知する。
					学校教育課	/	/
		オ		中・高校生の時期には、読書に関する関心が低下しないよう、読書の時間の確保について啓発します。	図書館	読書啓発事業ティーンズ向け(中学生向け)展示	こどもの読書週間、読書週間の啓発事業の実施(展示、講演会、ビブリオバトル)※ティーンズの対象は、中学・高校生
					学校教育課	/	/
					市内高校	-	別紙「令和2年度 子どもの読書活動に関するアンケート【高等学校】」結果参照(質問5-①)
		カ		市が行う様々な子育て支援事業の機会に、子どもの読書や絵本についての啓発や相談に応じるほか、保護者同士の交流を進めます。	子育て支援課	読書活動の周知啓発	子育て支援事業において、読書活動の周知啓発を行う。
		キ		青少年の読書活動推進や、公民館事業等の中で子どもの読書活動に関連するもの	1 / 46 ページ 公民館	対象事業あり	別紙「令和2年度 子どもの読書活動に関するアンケート【公民館・入西

に対し、その取り組みを支援します。

△△△

△△△△△

地域交流センター】結果参照(質問3-①)

					図書館	絵本の読み聞かせボランティア養成講座	読み聞かせボランティアの育成を行う。講座修了者には、図書館での読み聞かせボランティア活動への参加を促す。
					学校教育課	/	/
		ク	市内の中・高校生や大学生に対し、市立図書館や学校、保育園での読み聞かせなどのボランティア参加を奨励します。		市内高校	-	別紙「令和2年度 子どもの読書活動に関するアンケート【高等学校】」結果参照(質問5-②)
					市内大学	-	別紙「令和2年度 子どもの読書活動に関するアンケート【大学】」結果参照(質問3-②)
					保育課	-	保育士を目指す学生の実習の際に、読み聞かせを実施します。
		ア	ボランティアと連携して、お話し会や映画会などの児童サービスの充実に努めます。		図書館	児童サービス(ちいさい子のおはなし会、おはなし玉手箱、おはなし本棚) 映画鑑賞会等	図書館ボランティアによる各種おはなし会の実施 子ども向け映画鑑賞会の実施
		イ	総合的な学習の時間や調べ学習を支援するため、児童・生徒向けのレファレンスを充実させ、本を通じて自ら学習する心を育成します。		図書館	総合的な学習の時間等におけるテーマ別図書貸出し	授業内容に沿った図書の貸出
		ウ	本や物語への興味を喚起する「入口」として、演劇公演などの事業を企画実施します。		図書館	演劇・人形劇の公演	二人芝居「宮澤賢治童話集」 人形劇場だぶだぶによる人形劇
		エ	障害や病気療養などの理由により、図書館利用に障害のある子どもやその保護者へのサービス充実に努めます。		図書館	障害者サービス	視覚障害者(児)への郵送貸出し(録音図書等)などのサービス 県立坂戸ろう学園との連携
					特別支援学校	-	別紙「令和2年度 子どもの読書活動に関するアンケート【特別支援学校】」結果参照(質問7)
					医療機関	/	/
		オ	研修等を通じ、図書館職員のスキル向上を図るほか、児童・青少年サービスの知識・技術を持つボランティアの育成・活用を図ります。		図書館	児童サービス研修への参加 ボランティア養成講座の開催	県立図書館による児童奉仕研修会への参加、絵本の読み聞かせボランティア養成講座の開催、スキルアップ研修等の実施
	(1)市立図書館における推進	カ	学校が行う読書教室・朝会や保育園、幼稚園が行うおはなし会等に職員を派遣し、学校等における読書活動を支援します。		図書館	読書朝会・読書教室 出張おはなし会	市内小学校でのブックトーク・ストーリーテリングの実施
		キ	保育園、児童館などの職員に対し、講習会などを通じ、図書室の運営や読み聞かせ、ストーリーテリングなどの技術向上を支援します。		図書館	児童サービス	講習会、研修会の実施
		ク	読書活動推進のために活動する地域ボランティアの発掘・育成に努めます。		図書館	読み聞かせボランティア養成講座、スキルアップ研修等	図書館ボランティアだけでなく、一般公募による研修会とし、図書館以外でのボランティア活動を支援する。
		ケ	除籍済みとなった図書や雑誌を、リサイクル資料として広く市民に提供し、家庭での読書機会の拡大につなげます。		図書館	リサイクル市	図書館まつりにおけるリサイクル市、公民館の文化祭におけるリサイクル市

		コ		子どもやあらゆる世代にとり、より利用しやすい市立図書館となるよう、社会情勢や利用者の声に常に耳を傾けます。	図書館	アンケート、利用者の声	窓口や投書による利用者の声、アンケートの実施等により、要望等を聴く
(2) 公民館、児童館、その他施設における推進	ア	8		公民館等、児童館、学童クラブにおいて、市立図書館の団体貸出制度などを通じ、蔵書数の補完を図ります。	図書館	/	/
					公民館等	/	/
					入西地域交流センター	/	/
	イ	9		各施設が行う幼児、児童対象の事業に、読み聞かせやストーリーテリングなどの導入を促します。	子育て支援課	読書環境の整備	乳幼児、小学生、中学生を対象に、発達段階に応じた蔵書構成に努める。
					図書館	/	/
					子育て支援課	読書環境の整備	職員による読み聞かせの実施。
ウ	9		集いの広場において行うお話本棚事業を通じ、幼児期の親子が本に親しむ機会の拡充について支援します。	図書館	おはなし本棚	幼児の読書環境を整備するため、図書館サービスポイントから遠く、幼児人口の多い入西地域交流センターでのおはなし会を実施し、子育て支援、読書啓発を行う。	
				子育て支援課	読書環境の整備	集いの広場にてお話本棚事業の実施。	

「坂戸市子ども読書活」

計画期間における指標や事業の実績等ー

第2部 各論
第1章 家庭・地域、学校における子ども

達成度	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな成果を得ることができた
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している
D	着手もしくはほとんど達成できなかった

推進の柱	小柱	No.	平成28年度の事業実績		平成28年度の目標達成度		平成29年度の事業実績		平成29年度の目標達成度	
			内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由
1 家庭における推進		ア	おはなし会:2,123人 129回 展示:雨の本 など 講演会1回、89人	B	各種おはなし会等を実施することができた	おはなし会:2,124人 128回 展示:ようかい・ハロウインの本 など 講演会1回、80人	B	各種おはなし会等を実施することができた		
		イ	/	D	事業を実施していなかったため	/	D	事業を実施していなかったため		
			/	D	未実施のため	/	D	未実施のため		
		ウ	絵本の読み聞かせや手あそびなど 参加者:307名 出張おはなし会 参加者:106名(3歳児~5歳児対象) 赤ちゃん絵本広場 参加者:660名	B	例年どおり、実施することができたため。	絵本の読み聞かせや手あそびなど 参加者:249名 出張おはなし会 参加者:212名(3歳児~5歳児対象) 赤ちゃん絵本広場 参加者:645名	B	例年どおり、実施することができたため。		
			機会がある度に、家族による絵本などの読み聞かせを習慣的に行うよう啓発しました。	B	機会がある度に、家族による絵本などの読み聞かせを習慣的に行うよう啓発しました。園児にとって良い影響があったものと考えられます。	機会がある度に、家族による絵本などの読み聞かせを習慣的に行うよう啓発しました。	B	機会がある度に、家族による絵本などの読み聞かせを習慣的に行うよう啓発しました。園児にとって良い影響があったものと考えられます。		
		エ	子ども読書の日イベント:参加者69名 春の図書館まつり:参加者1,112名 夏の図書館まつり:参加者392名 秋の図書館まつり:参加者1,220名	B	おはなし会および講演会を実施し、啓発に努めたため	子ども読書の日イベント:参加者54名 春の図書館まつり:参加者909名 夏の図書館まつり:参加者560名 秋の図書館まつり:参加者1,155名	B	おはなし会、記念展示および講演会を実施し、啓発に努めたため		
			チラシ等の設置協力	-	効果の程は確認していませんので、達成度は不明です。	チラシ等の設置協力	-	効果の程は確認していませんので、達成度は不明です。		
			/	/	/	/	/	/		
		オ	高校生・大学生のビブリオバトルへの参加(城西大学、県立坂戸高校、県立坂戸西高校への参加協力依頼を実施) ティーンズ向けに定期的な展示を実施	B	学校との協力のもと、実施することができた。	高校生・大学生のビブリオバトルへの参加(城西大学、県立坂戸高校、県立坂戸西高校への参加協力依頼を実施) ティーンズ向けに定期的な展示を実施	B	学校との協力のもと、実施することができた。		
		カ	/	/	/	/	/	/		
キ										

			読み聞かせの基本についての講義、実習など(全3回)受講者延べ41名。新規登録9名。	B	例年どおり、実施することができたため。	読み聞かせの基本についての講義、実習など(全3回)受講者延べ46名。新規登録5名。	B	例年どおり、実施することができたため。
		ク						
			保育士を目指す学生の実習の際に、読み聞かせを実施しました。	B	保育士を目指す学生の实習の際に、読み聞かせを実施し、園児に良い影響があったと考えられます。	保育士を目指す学生の实習の際に、読み聞かせを実施しました。	B	保育士を目指す学生の实習の際に、読み聞かせを実施し、園児に良い影響があったと考えられます。
2 地域における推進	(1)市立図書館における推進	ア	各種おはなし会:2,123人 129回 映画会:5回、172名	B	例年通り実施できた	各種おはなし会:2,124人 128回 映画会:7回、240名	B	例年通り実施できた
		イ	総合的な学習の時間等のテーマ別団体貸出:52回 (小学校48回、中学校4回)1,359冊	B	学校と連携し、実施ができた	総合的な学習の時間等のテーマ別団体貸出:43回 (うち小学校41回、中学校2回)1,074冊	B	学校と連携し、実施ができた
		ウ	なし			人形劇場だぶだぶによる人形劇の実施 参加人数:110人	B	親子の参加が多く好評だった
		エ	0~18歳までの視覚障害者(児)への録音図書等の郵送貸出の実績はなし	C	学校図書館との連携が取れていない	0~18歳までの視覚障害者(児)への録音図書等の郵送貸出の実績はなし	C	学校図書館との連携が取れていない
		オ	児童奉仕研修会への参加 読み聞かせスキルアップ研修 参加33人 乳幼児サービス研修 参加31人	B	ちいさい子のおはなし会のボランティアへの研修会を実施した。	児童奉仕研修会への参加 読み聞かせスキルアップ研修 参加26人 紙芝居講座 参加?	B	おはなし広場、高齢者サービス向けとして紙芝居講座を実施した
		カ	・読書朝会・読書教室:10校 (うち教室8校、朝会2校)のべ3,853人 ・出張おはなし会:2回(城山、東坂戸)	B	各種事業にて実施することができた	・読書朝会・読書教室:11校 (うち教室9校、朝会2校)のべ4,342人 ・出張おはなし会:4回(城山、東坂戸各2回)	B	各種事業にて実施することができた
		キ	実施なし	D	講習会等実施していないため	実施なし	D	講習会等実施していないため
		ク	読み聞かせスキルアップ研修 参加33人	B	学校での読み聞かせボランティアの参加あり	読み聞かせスキルアップ研修 参加26人 紙芝居講座 参加?	B	学校での読み聞かせボランティアの参加あり その他地域で活動しているボランティアの参加もあった
		ケ	リサイクル市 900人、7,260冊(春)、800人、4,500冊(秋) 大家公民館:60人、200冊 城山公民館:60人、200冊	A	多くの市民に、提供することができた	リサイクル市:600人、6,280冊(春)、760人、3,800冊(秋) 大家公民館:30人、60冊 勝呂公民館:50人、150冊 城山公民館:30人、120冊	A	多くの市民に、提供することができた

		コ	利用者アンケートを実施した。(設問には特に「子ども読書活動推進計画」に沿っての質問は無いが、児童サービスについての意見等あり) 利用者の声、投書コーナーの継続設置。	B	利用者アンケートの自由記載欄で個々のサービス等に対する要望を聞くことができた。	利用者アンケートは実施しなかった 利用者の声、投書コーナーの継続設置。	C	窓口や投書による利用者の声を受けた。(市民の声、資料への要望など)
(2) 公民館、児童館、その他施設における推進	ア		/	D		/	D	
			市立図書館の団体貸出制度などを通じ、蔵書数の補完を図る。	D	市立図書館の団体貸出制度を利用していない。	市立図書館の団体貸出制度などを通じ、蔵書数の補完を図る。	D	市立図書館の団体貸出制度を利用していない。
	イ		/		/	/		/
			児童センターが行う児童対象事業で読み聞かせを行う。	B	当初予定していた通り読み聞かせを実施することができた。	児童センターが行う児童対象の事業で読み聞かせを行う。	B	当初予定していた通り読み聞かせを実施することができた。
	ウ		絵本の読み聞かせや手あそびなど 参加者:314人	B	例年どおり、実施することができたため。	絵本の読み聞かせや手あそびなど 参加者:239人	B	例年どおり、実施することができたため。
			集いの広場にてお話本棚事業の実施	B	当初予定していた通りお話本棚を実施することができた。	集いの広場にてお話本棚事業の実施	B	当初予定していた通りお話本棚を実施することができた。

「坂戸市子ども読書活」

計画期間における指標や事業の実績等ー

第2部 各論

第1章 家庭・地域、学校における子どもが

推進の柱	小柱	No.	平成30年度の事業実績		平成30年度の目標達成度		令和元年度の事業実績		令和元年度の目標達成度	
			内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由
1 家庭 にお ける 推 進		ア	おはなし会:2,071人 129回 展示:運動、スポーツの本 など		B	各種おはなし会等を実施することができた	おはなし会:1,840人 121回 展示:猫の本 など 講演会1回、80人		B	各種おはなし会等を実施することができた
		イ	/		D	事業を実施していなかったため	/		D	事業を実施していなかったため
			/		D	未実施のため	/		D	未実施のため
		ウ	絵本の読み聞かせや手あそびなど 参加者:186名 出張おはなし会 参加者:300名(3歳児~5歳児対象) 赤ちゃん絵本広場 参加者:534名		B	例年どおり、実施することができたため。	絵本の読み聞かせや手あそびなど 参加者:209名 出張おはなし会 参加者:202名 赤ちゃん絵本広場 参加者:505名		B	例年どおり実施。参加者の低年齢化に伴い、わらべうたを実施する機会が増えたため。
			機会がある度に、家族による絵本などの読み聞かせを習慣的に行うよう啓発しました。		B	機会がある度に、家族による絵本などの読み聞かせを習慣的に行うよう啓発しました。園児にとって良い影響があったものと考えられます。	機会がある度に、家族による絵本などの読み聞かせを習慣的に行うよう啓発しました。		B	機会がある度に、家族による絵本などの読み聞かせを習慣的に行うよう啓発しました。園児にとって良い影響があったものと考えられます。
		エ	子ども読書の日イベント:参加者35名 こどもの読書週間記念展示の実施 春の図書館まつり:参加者999名 夏の図書館まつり:参加者395名 秋の図書館まつり:参加者1,504名		B	おはなし会および記念展示を実施し、啓発に努めたため	子ども読書の日イベント:参加者23名 こどもの読書週間記念展示の実施 春の図書館まつり:参加者953名 夏の図書館まつり:参加者414名 秋の図書館まつり:参加者1,176名		B	おはなし会および記念展示を実施し、啓発に努めたため
			チラシ等の設置協力		-	効果の程は確認していませんので、達成度は不明です。	チラシ等の設置協力		-	効果の程は確認していませんので、達成度は不明です。
			/		/	/	/		/	/
		オ	高校生・大学生のビブリオバトルへの参加(城西大学、県立坂戸高校、県立坂戸西高校への参加協力依頼を実施) ティーンズ向けに定期的な展示を実施		B	学校との協力のもと、実施することができた。	高校生・大学生のビブリオバトルへの参加(城西大学、県立坂戸高校、県立坂戸西高校への参加協力依頼を実施) ティーンズ向けに定期的な展示を実施		B	学校との協力のもと、実施することができた。
		カ	/		/	/	/		/	/
キ										

			読み聞かせの基本についての講義、実習など(全3回)受講者延べ43名。新規登録8名。	B	例年どおり、実施することができた。	読み聞かせの基本についての講義、実習など(全3回)受講者延べ60名。新規登録9名。	B	昨年度より定員を増やして実施。
		ク						
			保育士を目指す学生の実習の際に、読み聞かせを実施しました。	B	保育士を目指す学生の实習の際に、読み聞かせを実施し、園児に良い影響があったと考えられます。	保育士を目指す学生の实習の際に、読み聞かせを実施しました。	B	保育士を目指す学生の实習の際に、読み聞かせを実施し、園児に良い影響があったと考えられます。
2 地域における推進	(1)市立図書館における推進	ア	各種おはなし会:2,124人 128回 映画会:7回、313名	B	例年通り実施できた	各種おはなし会:1,840人 121回 映画会:7回、210名	B	例年通り実施できた
		イ	総合的な学習の時間等のテーマ別団体貸出:42回 (うち小学校36回、中学校6回)1,295冊	B	学校と連携し、実施ができた	総合的な学習の時間等のテーマ別団体貸出:35回 (うち小学校30回、中学校5回)949冊	B	学校と連携し、実施ができた
		ウ	二人芝居 宮澤賢治童話集の実施 68人	B	幅広い世代の参加があった	人形劇場だぶだぶによる人形劇の実施 参加人数:52人	B	小学生向けのプログラムにしたので、幅広い年齢の参加があった
		エ	0~18歳までの視覚障害者(児)への録音図書等の郵送貸出の実績はなし	C	学校図書館との連携が取れていない	0~18歳までの視覚障害者(児)への録音図書等の郵送貸出の実績はなし	C	学校図書館との連携が取れていない
		オ	児童奉仕研修会への参加 読み聞かせスキルアップ研修 参加24人 親子でたのしむわらべうた講座 42人	B	おはなし会のプログラムに大切なわらべうたの研修会を実施した	児童奉仕研修会への参加 読み聞かせスキルアップ研修 参加29人 わらべうた研修はコロナ感染防止のための休館により中止となる。		わらべうた研修はコロナ感染防止のための休館により中止となる。
		カ	・読書朝会・読書教室:10校 (うち教室8校、朝会2校)のべ3,853人 ・出張おはなし会:4回(城山、東坂戸各2回)	B	各種事業にて実施することができた	・読書朝会・読書教室:10校 (うち教室9校、朝会1校)のべ3,551人 ・出張おはなし会:4回 (城山、東坂戸各2回)のべ300人	B	各種事業にて実施することができた
		キ	実施なし	D	講習会等実施していないため	実施なし	D	講習会等実施していないため
		ク	読み聞かせスキルアップ研修 参加24人 親子でたのしむわらべうた講座 42人	B	学校での読み聞かせボランティアの参加あり その他地域で活動しているボランティアの参加もあった	読み聞かせスキルアップ研修 参加29人 わらべうた研修はコロナ感染防止のための休館により中止となる。		わらべうた研修はコロナ感染防止のための休館により中止となる。
		ケ	リサイクル市:590人、44,950冊(春)、960人、1,600冊(秋) 勝呂公民館:60人、210冊 大家公民館:100人、360冊 城山公民館:60人、210冊	A	多くの市民に提出することができた	リサイクル市:500人、2,000冊(春)、600人、1,600冊(秋) 大家公民館:20人、120冊 城山公民館:25人、100冊	A	多くの市民に提供することができた

		コ	アンケート実施（設問には特に計画についての質問を無いが、児童サービスについての意見等あり）	B	自由記載欄で個々のサービス等の要望を聞くことができた。	利用者アンケートは実施しなかった 利用者の声、投書コーナーの継続設置。	C	窓口や投書による利用者の声を受けた。（市民の声、資料への要望など）
(2) 公民館、児童館、その他施設における推進	ア		/	D		/	D	
			市立図書館の団体貸出制度などを通じ、蔵書数の補完を図る。	D	市立図書館の団体貸出制度を利用していない。	市立図書館の団体貸出制度などを通じ、蔵書数の補完を図る。	D	市立図書館の団体貸出制度を利用していない。
	イ		/		/	/	/	/
			児童センターが行う児童対象の事業で読み聞かせを行う。	B	当初予定していた通り読み聞かせを実施することができた。	児童センターが行う児童対象の事業で読み聞かせを行う。	B	当初予定していた通り読み聞かせを実施することができた。
	ウ		絵本の読み聞かせや手あそびなど 参加者：142人	B	例年どおり、実施することができたため。	絵本の読み聞かせや手あそびなど 参加者：163人	B	例年どおり、実施することができたため。
			集いの広場にてお話本棚事業の実施	B	当初予定していた通りお話本棚を実施することができた。	集いの広場にてお話本棚事業の実施	B	当初予定していた通りお話本棚を実施することができた。

「坂戸市子ども読書活」

計画期間における指標や事業の実績等ー

第2部 各論
第1章 家庭・地域、学校における子ども

方向性	
A	拡大(新規含む)
B	継続
C	縮小(終了含む)
D	未定

推進の柱	小柱	No.	令和2年度の事業実績		令和2年度の目標達成度		令和3年度の事業の方向性	
			内容(複数ある場合は分けて記入してください)	達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由	
1 家庭 にお ける 推 進		ア	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止事業多数となっている。	C	開館以降再開した事業もあるため。今後は社会情勢を鑑みて実施・再開を検討。	B	今後も引き続き読書啓発に努める必要が考えられるため。	
		イ	/	D	未実施のため	D	明確な根拠がないため実施の予定なし	
			/	D	未実施のため	D	明確な根拠のある資料があれば配布や設置等を検討	
		ウ	絵本の読み聞かせや手あそびなど 参加者:31名 ※9月～12月のみ実施。	B	参加人数を少なくしているが、内容については昨年度と同様に実施中のため。	B	乳幼児期の家族による絵本などの読み聞かせについて、習慣的に行うよう引き続き啓発していくため。	
			機会がある度に、家族による絵本などの読み聞かせを習慣的に行うよう啓発しました。	B	機会がある度に、家族による絵本などの読み聞かせを習慣的に行うよう啓発しました。園児にとって良い影響があったものと考えられます。	B	園児の発育に良い影響があると考えられるため。	
		エ	読書週間記念展示の実施	B	子ども読書の日については、新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館中であり、展示等の実施はできなかった。	B	読書啓発を行う必要が考えられるため。	
			チラシ等の設置協力	-	効果の程は確認していませんので、達成度は不明です。	B	園児の発育に良い影響があると考えられるため。	
			/	/	/	D	図書館と連携を行い、お話し会等の行事参加への促進方法について検討を行う。	
		オ	ティーンズ向けに定期的な展示を実施	B	テーマ展示を実施した。	B	今後も引き続き読書啓発に努める必要のため。	
		カ	/	/	/	D	図書館と連携を行い、読書活動の周知啓発について検討を行う。	
		キ						

		ク	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	D	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となったため。	B	読み聞かせボランティア活動参加者の育成および図書館での読み聞かせボランティア活動への参加につなげていくため。(新型コロナの状況を注視しながら、実施したい。)
			新型コロナの影響により、外部の方の出入りを制限しているため、今年度は実施できておりません。	D	新型コロナの影響により、外部の方の出入りを制限しているため、今年度は実施できておりません。	D	新型コロナの状況により、実施について検討します。
2 地域 にお ける 推 進	(1)市立図書館に おける推進	ア	各種おはなし会の実施:7名	B	10月1日現在、おはなし会が一部実施を再開。映画鑑賞会は10月から再開	B	ボランティアとの連携による図書館利用や読書活動の啓発は引き続き必要と考えられるため。
		イ	総合的な学習の時間等のテーマ別団体貸出:18回(うち小学校16回、中学校2回) 506冊(10月1日現在)	B	継続して実施	B	授業内容に沿った図書の貸出しを継続するほか、児童・生徒向けのレファレンスについて研究・充実を図ることで、探究心や論理性などを育成します。
		ウ	なし	D	新型コロナの影響により、未実施	B	新型コロナの状況により、実施について検討する。
		エ	0~18歳までの視覚障害者(児)への録音図書等の郵送貸出の実績はなし		学校図書館との連携が取れていない	B	録音図書等の郵送貸出しの利用実態はないが、図書館利用のニーズを調査し、周知を図ることが必要である。視覚障害者(児)が求める情報にアクセスできるように、図書館の役割を果たすことが重要であるため。
		オ	児童奉仕研修会のみ参加	D	各種事業未実施のため	B	感染防止対策を実施のうえ、実施を検討する。
		カ	コロナ感染防止のため、事業中止。	D	各種事業未実施のため	B	引き続き読書啓発のため、各施設等と連携して実施を検討しているため。
		キ	実施なし	D	講習会等実施していないため	B	各施設等と連携して実施を検討しているため
		ク	コロナ感染防止のため、事業中止。	D	各種事業未実施のため	B	各施設等と連携して実施を検討しているため
		ケ	コロナ感染防止のため、事業中止。	D	各種事業未実施のため	B	感染症拡大防止対策をとったうえ、実施を検討しているため

		コ	利用者アンケートは実施しなかった 利用者の声、投書コーナーの継続設置。	C	窓口や投書による利用者の声を受けた。 (市民の声、資料への要望など)	B	継続して利用者の要望や、新規事業への関心などを調査し、求められるサービスを実施、改善していく必要がある。
(2) 公民館、児童館、その他施設における推進	ア		/			D	団体貸出の実施はないが、配本サービスを実施しているので今後も継続していく
		市立図書館の団体貸出制度などを通じ、蔵書数の補完を図る。	D	市立図書館の団体貸出制度を利用していない。	A	児童センターより図書館と連携を行い、積極的に蔵書の補完に努める。	
	イ		/		/	なし	なし
			児童センターが行う児童対象の事業で読み聞かせを行う。	B	当初予定していた通り読み聞かせを実施することができた。	B	引き続き児童対象事業において、読み聞かせの実施を行う。
	ウ		絵本の読み聞かせや手あそびなど 参加者:30名 ※10月～12月のみ実施。	B	例年どおり、実施中のため	B	図書館サービスポイントから遠い地域への読書啓発活動が必要であるため
			集いの広場にてお話本棚事業の実施	B	当初予定していた通りお話本棚を実施することができた。	B	引き続き、つどいの広場にてお話本棚事業の実施を行う。

「坂戸市子ども読書活動推進計画(第三次)(平成28年度～平成32年度)」事業実施状況調査結果

計画期間における指標や事業の実績等一覧

記入日: 令和2年10月
(図書館については、令和2年10月～令和3年1月)

第2部 各論
第1章 家庭・地域、学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

推進の柱	小柱	No.	計画掲載頁	具体的な施策	所管・関連部署	事業名	事業の概要
3	(1) 保育園や幼稚園における推進	ア	9	日常の保育の中で、読み聞かせ等、幼児が絵本に触れる機会を増やします。	保育課	-	日常の保育の中で、読み聞かせ等、幼児が絵本に触れる機会を増やします。
					教育総務課(末広幼稚園)	保育中に	毎日担任が、季節感のある絵本・年齢、発達に応じた絵本の選定をし、読み聞かせをする
					保育課	-	地域のボランティアと連携し、絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを実施します。
					教育総務課(末広幼稚園)	お話宝箱	地域の方がボランティアで絵本の読み聞かせを行う(年3回)
		イ		地域のボランティアと連携し、絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを実施します。	図書館	出張おはなし会(保育園)	図書館から遠い地域にある保育園(城山保育園、東坂戸保育園)におけるおはなし会および団体貸出
					保育課	-	保護者会、園・クラスだより、連絡帳などを通じ園児の好む本や読ませたい本の情報を提供します。また、読み聞かせによる親子の触れあいの大切さを啓発します。
					教育総務課(末広幼稚園)	保護者会・保育参観	親子で絵本を読むことの大切さを伝える 保育参観で、担任の絵本の読み聞かせを見ることにより、絵本の大切さに気付けるようにする
					教育総務課(末広幼稚園)	保護者会・保育参観	親子で絵本を読むことの大切さを伝える 保育参観で、担任の絵本の読み聞かせを見ることにより、絵本の大切さに気付けるようにする
		ウ		保護者会、園・クラスだより、連絡帳などを通じ園児の好む本や読ませたい本の情報を提供します。また、読み聞かせによる親子の触れあいの大切さを啓発します。	図書館	出張おはなし会(保育園)	図書館から遠い地域にある保育園(城山保育園、東坂戸保育園)におけるおはなし会および団体貸出
					保育課	-	保護者会、園・クラスだより、連絡帳などを通じ園児の好む本や読ませたい本の情報を提供します。また、読み聞かせによる親子の触れあいの大切さを啓発します。
					教育総務課(末広幼稚園)	保護者会・保育参観	親子で絵本を読むことの大切さを伝える 保育参観で、担任の絵本の読み聞かせを見ることにより、絵本の大切さに気付けるようにする
					教育総務課(末広幼稚園)	保護者会・保育参観	親子で絵本を読むことの大切さを伝える 保育参観で、担任の絵本の読み聞かせを見ることにより、絵本の大切さに気付けるようにする

「坂戸市子ども読書活動推進計画(第三次)(平成28年度～平成32年度)」事業実施状況調査結果

計画期間における指標や事業の実績等一覧

記入日: 令和2年10月
(図書館分については、令和2年10月～令和3年1月)

第2部 各論
第1章 家庭・地域、学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

学校等における推進	エ	園の絵本コーナーを活用し、保護者への図書の貸出しを促進します。	保育課	-	園の絵本コーナーを活用し、保護者への図書の貸出しを促進します。	
			教育総務課	/	/	
			保育課	-	障害をもつ子どもに対し、本を介してふれあいながら読書への興味を養い、発達を図ります。	
			教育総務課(末広幼稚園)	保育中に	その子どもが興味のある内容を知り、その子にあった絵本を用意して、今後の成長につなげる	
	(2)小・中学校における推進	ア	学校図書館では、利用案内のほか、学校ごとの推薦図書を設定して優良図書を紹介するなど、利用拡大を図ります。	図書館	学校図書館との連携事業	読書週間に合わせたテーマ展示(学校図書室の展示を図書館で紹介するなど)
				学校教育課	/	/
		イ	読書感想文コンクールへの参加の奨励や、秋の読書週間の読書集会・読書まつりなど、各学校において多様な読書活動を進めます。	学校教育課	/	/
		ウ	全校一斉の読書活動は子どもたちが読書習慣を身につけ、読書力を高める上で有効なため、今後も継続して実施します。	学校教育課	/	/
		エ	学校だよりや推薦図書リストの配布、保護者対象の講演会の開催などを通じ、保護者の読書への関心と理解が深まるように啓発します。	学校教育課	/	/
		オ	司書教諭やその他の教職員、読書活動支援員を対象に、学校図書館の運営や、読書指導の実技等に関しスキル向上を図ります。	図書館	読書支援員研修会	学校図書室の運営に関する研修と情報交換
学校教育課	/			/		
カ	障害のある子どもには、発達に資するため、障害の種類や程度に応じた図書を提供するなど、本に親しめる取り組みを行います。	図書館	団体貸出サービス	特別支援学級への団体貸出を実施する。		
		学校教育課	/	/		

「坂戸市子ども読書活動推進計画(第三次)(平成28年度～平成32年度)」事業実施状況調査結果

計画期間における指標や事業の実績等一覧

記入日: 令和2年10月
(図書館分については、令和2年10月～令和3年1月)

第2部 各論
第1章 家庭・地域、学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

4 地域、 学校等 の連携・ 協力	11	ア	小・中学校への団体貸し出しや読書教室への職員派遣、学校図書館主任会議への関与など、図書館と学校の連携・協力を進めます。	図書館	読書朝会・読書教室 団体貸出サービス	市内小学校でのブックトーク・ストーリーテリングの実施 小・中学校における図書館の団体貸出
				学校教育課	/	/
		イ	学校教員や幼稚園教諭、保育士、学童保育指導員等の研修会に際し、市立図書館が職員派遣等の要請に応じます。	図書館	/	/
				教育総務課(末広幼稚園)	/	/
				学校教育課	/	/
				保育課	-	保育士、学童保育指導員等の研修会に際し、市立図書館が職員派遣等の要請に応じます。
			子育て支援課	職員研修の実施	保育士等の資質向上のため、読み聞かせなどの研修会を実施する。	
		ウ	地域ボランティアの活動について支援します。	図書館	絵本の読み聞かせボラン ティア養成講座	読み聞かせボランティアの育成を図る。講座修了者には、図書館での読み聞かせボランティア活動への参加を促す。
		エ	大学図書館の地域連携協力図書館として、相互連携を推進します。	図書館・大学	相互利用サービス 地域相互協力図書館	坂戸市立図書館の資料および大学図書館に所蔵されている専門書等を活用し、住民の学習の場を拡大し、幅広い調査研究、教育、文化の向上とともに、相互利用の促進を図る
		オ	市内の高等学校等との連携・協力を進めます。	図書館・市内高校	学校・学校図書館との連携	図書館で実施する講演会等の広報をする。 ビブリオバトルの広報および参加の協力依頼をする。

「坂戸市子ども読書活」

計画期間における指標や事業の実績等ー

第2部 各論
第1章 家庭・地域、学校における子ども

達成度	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな成果を得ることができた
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している
D	着手もしくはほとんど達成できなかった

推進の柱	小柱	No.	平成28年度の事業実績		平成28年度の目標達成度		平成29年度の事業実績		平成29年度の目標達成度	
			内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由
3	(1) 保育園や幼稚園における推進	ア	日常の保育の中で、読み聞かせ等、幼児が絵本に触れる機会を増やします。		B	日常の保育の中で、読み聞かせ等、幼児が絵本に触れる機会を増やしたことにより、園児の発育に良い影響があったものと考えられます。	日常の保育の中で、読み聞かせ等、幼児が絵本に触れる機会を増やします。		B	日常の保育の中で、読み聞かせ等、幼児が絵本に触れる機会を増やしたことにより、園児の発育に良い影響があったものと考えられます。
			昼食後の休息を時間や、降園前等に担任が絵本の読み聞かせをした		B	担任の読み聞かせて、園児が絵本の楽しさを知り味わうことにより、個々が進んでクラスにある絵本を読んでいた	前年度と同じ		B	前年度と同じ
		イ	主に図書館が紹介してくれたボランティアと連携し、絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを実施しました。		B	主に図書館が紹介してくれたボランティアと連携し、絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを実施したことにより、園児の発育に良い影響があったものと考えられます。	主に図書館が紹介してくれたボランティアと連携し、絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを実施しました。		B	主に図書館が紹介してくれたボランティアと連携し、絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを実施したことにより、園児の発育に良い影響があったものと考えられます。
			年3回、読み聞かせボランティアの方が2名、年少組は各保育室で、年長組は遊戯室で読み聞かせを行った		B	ボランティアの方による読み聞かせが新鮮な様子である。図書館から借りてきた絵本も多く、子ども達は図書館に行きたいという気持ちが育ったようだ	前年度と同じ		B	前年度と同じ
		ウ	東坂戸保育園:おはなし会1回、団体貸出80冊 城山保育園:おはなし会1回、団体貸出80冊		B	例年通り、実施できたため。	東坂戸保育園:おはなし会2回、団体貸出140冊 城山保育園:おはなし会2回、団体貸出100冊		A	年1回のところを年2回実施に変更
			保護者会、園・クラスだより、連絡帳などを通じ園児の好む本や読ませたい本の情報を提供しました。また、読み聞かせによる親子の触れあいの大切さを啓発しました。		B	保護者会、園・クラスだより、連絡帳などを通じ園児の好む本や読ませたい本の情報を提供しました。また、読み聞かせによる親子の触れあいの大切さを啓発しました。園児の発育に良い影響があったものと考えられます。	保護者会、園・クラスだより、連絡帳などを通じ園児の好む本や読ませたい本の情報を提供しました。また、読み聞かせによる親子の触れあいの大切さを啓発しました。		B	保護者会、園・クラスだより、連絡帳などを通じ園児の好む本や読ませたい本の情報を提供しました。また、読み聞かせによる親子の触れあいの大切さを啓発しました。園児の発育に良い影響があったものと考えられます。
			・保護者会で、実践例を出して親子で絵本を見る大切さを伝える ・保育参観時、園にある絵本、読み聞かせの場面を見ることにより、保護者にも絵本の大切さに気付いてもらえるようにする		B	・子ども達から「この本、家にもあるよ」「この本、図書館でも借りたよ」との声が聞かれ、家庭でも、絵本に親しんでいる様子が伺えた。	前年度と同じ		B	前年度と同じ

「坂戸市子ども読書活

計画期間における指標や事業の実績等ー

第2部 各論

第1章 家庭・地域、学校における子ども

達成度	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな成果を得ることができた
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している
D	着手もしくはほとんど達成できなかった

学校等における推進	エ	園の絵本コーナーを活用し、保護者への図書の貸出しを促進します。		B	園の絵本コーナーを活用し、保護者への図書の貸出しを促進しました。園児の発育に良い影響があったものと考えられます。	園の絵本コーナーを活用し、保護者への図書の貸出しを促進します。	B	園の絵本コーナーを活用し、保護者への図書の貸出しを促進しました。園児の発育に良い影響があったものと考えられます。
学校等における推進	オ	障害をもつ子どもに対し、本を介してふれあいながら読書への興味を養い、発達を図ります。		B	障害をもつ子どもに対し、本を介してふれあいながら読書への興味を養い、発達を図りました。園児の発育に良い影響があったものと考えられます。	障害をもつ子どもに対し、本を介してふれあいながら読書への興味を養い、発達を図ります。	B	障害をもつ子どもに対し、本を介してふれあいながら読書への興味を養い、発達を図りました。園児の発育に良い影響があったものと考えられます。
		その子どもが関心のある絵本を用意する等、落ち着いた絵本が見られる環境設定をした。		B	関心のある絵本を見ることにより、安定した気持ちで幼稚園で過ごせたり、幼稚園に来るのを楽しみにするようになった。	前年度と同じ	B	前年度と同じ
	ア	/	C	/	/	C	/	
(2)小・中学校における推進	イ							
	ウ							
	エ							
	オ	学校図書室の運営の情報交換 読書支援員 9名出席	B	情報の共有のため積極的な参加が見込めた	学校図書館システムの変更に伴う情報提供 読書支援員9名出席	B	情報の共有のため積極的な参加が見込めた	
	カ	不明	B	学校と連携し、実施できた。	不明	B	学校と連携し、実施できた。	

「坂戸市子ども読書活」

計画期間における指標や事業の実績等ー

第2部 各論

第1章 家庭・地域、学校における子どもが

達成度	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな成果を得ることができた
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している
D	着手もしくはほとんど達成できなかった

4 地域、 学校等 の連携・ 協力		ア	・読書朝会・読書教室：10校 (うち教室8校、朝会2校)のべ3,853人 ・団体貸出サービス：9校、10,870冊	B	学校と連携し、実施できたため。	・読書朝会・読書教室：11校 (うち教室9校、朝会2校)のべ4,342人 ・団体貸出サービス：9校、11,100冊	B	学校の協力を得て、実施ができたため
		イ	/	C	/	/	C	/
			/	/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/	/
		ウ	読み聞かせの基本についての講義、実習など(全3回) 受講者延べ41名。新規登録9名。	B	例年どおり、実施することができたため。	読み聞かせの基本についての講義、実習など(全3回) 受講者延べ46名。新規登録5名	B	例年どおり、実施することができたため。
エ	1、埼玉県立大学及び埼玉大学並びに城西大学との相互貸借 →実績値については、集計していない。 2、城西大学坂戸キャンパスの図書館、東洋大学川越キャンパスの図書館、大東文化大学東松山キャンパスの図書館の利用	B	1、相互貸借の合計件数は、同程度で推移していると見込まれる。 2、大学図書館の利用についてはPRが必要。	1、埼玉県立大学及び埼玉大学並びに城西大学との相互貸借 →実績値については、集計していない。 2、城西大学坂戸キャンパスの図書館、東洋大学川越キャンパスの図書館、大東文化大学東松山キャンパスの図書館の利用	B	1、相互貸借の合計件数は、同程度で推移していると見込まれる。 2、大学図書館の利用についてはPRが必要。		
オ	講演会等の広報を実施した。 ビブリオバトルの広報および参加の協力依頼を行った。	B	市内の高等学校と、連携・協力を進めることができた。(ビブリオバトル参加数：坂戸高校2名、坂戸西高校1名)	講演会等の広報を実施した。 ビブリオバトルの広報および参加の協力依頼を行った。	B	市内の高等学校と、連携・協力を進めることができた。(ビブリオバトル参加数：坂戸高校1名、坂戸西高校2名)		

「坂戸市子ども読書活」

計画期間における指標や事業の実績等ー

第2部 各論

第1章 家庭・地域、学校における子どもが

推進の柱	小柱	No.	平成30年度の事業実績		平成30年度の目標達成度		令和元年度の事業実績		令和元年度の目標達成度	
			内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由
3	(1) 保育園や幼稚園における推進	ア	日常の保育の中で、読み聞かせ等、幼児が絵本に触れる機会を増やします。	B	日常の保育の中で、読み聞かせ等、幼児が絵本に触れる機会を増やしたことにより、園児の発育に良い影響があったものと考えられます。	日常の保育の中で、読み聞かせ等、幼児が絵本に触れる機会を増やします。	B	日常の保育の中で、読み聞かせ等、幼児が絵本に触れる機会を増やします。		
			前年度と同じ	B	前年度と同じ	・前年度と同じ その他に ・園の重点目標に「聞く楽しさ、伝え合う喜びを味わえる子の育成」を掲げた	A	園の重点目標を達成するため、各担当が絵本の読み聞かせの環境を整え工夫していった		
		イ	主に図書館が紹介してくれたボランティアと連携し、絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを実施しました。	B	主に図書館が紹介してくれたボランティアと連携し、絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを実施したことにより、園児の発育に良い影響があったものと考えられます。	主に図書館が紹介してくれたボランティアと連携し、絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを実施しました。	B	主に図書館が紹介してくれたボランティアと連携し、絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを実施したことにより、園児の発育に良い影響があったものと考えられます。		
			前年度と同じ	B	前年度と同じ	前年度と同じ	B	前年度と同じ		
		ウ	東坂戸保育園:おはなし会2回、団体貸出140冊 城山保育園:おはなし会2回、団体貸出100冊	B	例年通り実施できたため	東坂戸保育園:おはなし会2回、団体貸出140冊 城山保育園:おはなし会2回、団体貸出100冊	B	例年通り実施できたため		
			保護者会、園・クラスだより、連絡帳などを通じ園児の好む本や読ませたい本の情報を提供しました。また、読み聞かせによる親子の触れあいの大切さを啓発しました。	B	保護者会、園・クラスだより、連絡帳などを通じ園児の好む本や読ませたい本の情報を提供しました。また、読み聞かせによる親子の触れあいの大切さを啓発しました。園児の発育に良い影響があったものと考えられます。	保護者会、園・クラスだより、連絡帳などを通じ園児の好む本や読ませたい本の情報を提供しました。また、読み聞かせによる親子の触れあいの大切さを啓発しました。	B	保護者会、園・クラスだより、連絡帳などを通じ園児の好む本や読ませたい本の情報を提供しました。また、読み聞かせによる親子の触れあいの大切さを啓発しました。園児の発育に良い影響があったものと考えられます。		
			前年度と同じ	B	前年度と同じ	・前年度と同じ その他に ・園の重点目標に「聞く楽しさ、伝え合う喜びを味わえる子の育成」を掲げ、園だよりでその内容を伝えた。毎月の園だより「絵本紹介コーナー」を設けた。	A	・保護者から「園だより」に載っていた絵本の〇〇、私も大好きです」「園だより」に載っていた絵本、図書館で借りました」等の声が聞かれた		
			前年度と同じ	B	前年度と同じ					

「坂戸市子ども読書活」

計画期間における指標や事業の実績等

第2部 各論

第1章 家庭・地域、学校における子ども

学校等における推進	エ	園の絵本コーナーを活用し、保護者への図書の貸出しを促進します。	B	園の絵本コーナーを活用し、保護者への図書の貸出しを促進しました。園児の発育に良い影響があったものと考えられます。	園の絵本コーナーを活用し、保護者への図書の貸出しを促進します。	B	園の絵本コーナーを活用し、保護者への図書の貸出しを促進しました。園児の発育に良い影響があったものと考えられます。	
		障害をもつ子どもに対し、本を介してふれあいながら読書への興味を養い、発達を図ります。	B	障害をもつ子どもに対し、本を介してふれあいながら読書への興味を養い、発達を図りました。園児の発育に良い影響があったものと考えられます。	障害をもつ子どもに対し、本を介してふれあいながら読書への興味を養い、発達を図ります。	B	障害をもつ子どもに対し、本を介してふれあいながら読書への興味を養い、発達を図りました。園児の発育に良い影響があったものと考えられます。	
	オ	前年度と同じ	B	前年度と同じ	前年度と同じ	A	パニックになった時や、集団の入れない時に好きな絵本を見ることにより、気持ちが落ち着いた幼児がいた	
	(2)小・中学校における推進	ア	読書週間に合わせた展示(各学校での展示を図書館にて実施)	B	参加しない学校もあった	/	C	/
		イ						
		ウ						
		エ						
オ		統一した統計資料の帳票に関する研修・学校図書室紹介の展示協力要請	B	情報の共有のため積極的な参加が見込めた	図書室の配置や工夫について研修 読書支援員 7名出席	B	情報の共有のため積極的な参加が見込めた	
カ	不明	B	学校と連携し、実施できた。	不明	B	学校と連携し、実施できた。		

「坂戸市子ども読書活」

計画期間における指標や事業の実績等ー

第2部 各論

第1章 家庭・地域、学校における子どもが

4 地域、 学校等 の連携・ 協力		ア	・読書朝会・読書教室:10校 (うち教室8校、朝会2校)のべ3,853人 ・団体貸出サービス:9校、11,100冊	B	学校の協力を得て、実施ができたため	・読書朝会・読書教室:10校 (うち教室9校、朝会1校)のべ3,551人 ・団体貸出サービス:11校、14,330冊	A	読書朝会から読書教室への変更があった 団体貸出サービスの提供校が増加した
			/	C	/	/	C	/
			/	/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/	/
		ウ	読み聞かせの基本についての講義、実習など(全3回) 受講者延べ43名。新規登録8名	B	例年どおり、実施することができたため。	読み聞かせの基本についての講義、実習など(全3回) 受講者延べ60名。新規登録9名	B	昨年度より定員を増やして実施。
		エ	1、埼玉県立大学及び埼玉大学並びに城西大学との相互貸借 →実績値については、集計していない。 2、城西大学坂戸キャンパスの図書館、東洋大学川越キャンパスの図書館、大東文化大学東松山キャンパスの図書館の利用	B	1、相互貸借の合計件数は、同程度で推移していると見込まれる。 2、大学図書館の利用についてはPRが必要。	1、埼玉県立大学及び埼玉大学並びに城西大学との相互貸借 →実績値については、集計していない。 2、城西大学坂戸キャンパスの図書館、東洋大学川越キャンパスの図書館、大東文化大学東松山キャンパスの図書館の利用	B	1、相互貸借の合計件数は、同程度で推移していると見込まれる。 2、大学図書館の利用についてはPRが必要。
		オ	講演会等の広報を実施した。 ビブリオバトルの広報および参加の協力依頼を行った。	B	市内の高等学校と、連携・協力を進めることができた。ビブリオバトル参加数:坂戸高校1名、坂戸西高校2名	講演会等の広報を実施した。 ビブリオバトルの広報および参加の協力依頼を行った。	B	市内の高等学校と、連携・協力を進めることができた。(ビブリオバトル参加数:坂戸高校1名、坂戸西高校2名)

「坂戸市子ども読書活」

計画期間における指標や事業の実績等ー

第2部 各論

第1章 家庭・地域、学校における子ども

方向性	
A	拡大(新規含む)
B	継続
C	縮小(終了含む)
D	未定

↓

推進の柱	小柱	No.	令和2年度の事業実績		令和2年度の目標達成度		令和3年度の事業の方向性	
			内容(複数ある場合は分けて記入してください)	達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由	
3	(1)保育園や幼稚園における推進	ア	日常の保育の中で、読み聞かせ等、幼児が絵本に触れる機会を増やします。	B	日常の保育の中で、読み聞かせ等、幼児が絵本に触れる機会を増やしたことにより、園児の発育に良い影響があったものと考えられます。	B	園児の発育に良い影響があると考えられるため。	
			・毎日担任が、季節感のある絵本・年齢、発達に応じた絵本の選定をし、読み聞かせをする ・コロナウイルス関係で臨時休園中、職員で空き教室を利用して、「絵本の部屋」を設ける。	A	・担任の読み聞かせて園児が絵本の楽しさを知り味わうことにより、個々が進んでクラスにある絵本を読んでいた ・「絵本の部屋」を設けたことにより、静かな環境の中、落ち着いて絵本を楽しめるようになった	B	・幼児にとって、絵本は、物語から心が育ったり感受性が豊かになる。 ・自分で絵本の世界を楽しむことも良いが、読み聞かせにより、担任や親とのふれあいがもてるため、今後も積極的に絵本を保育に取り入れたり、家庭にもその良さを伝えていきたい	
		イ	新型コロナの影響により、外部の方の出入りを制限しているため、今年度は実施できておりません。	D	新型コロナの影響により、外部の方の出入りを制限しているため、今年度は実施できておりません。	D	新型コロナの状況により、実施について検討します。	
			新型コロナウイルス対策で、今年度の「お話宝箱」は中止とした	コロナ対策で中止	新型コロナウイルス対策で、今年度の「お話玉手箱」は中止とした	D	新型コロナウイルス対策の必要がある場合は、中止となる可能性もある	
		ウ	各保育園でのおはなし会の実施、図書の貸出	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止。	B	図書館から遠い地域への読書推進と図書館利用の啓発のため、今後も同様に実施していく必要があるため。	
			保護者会、園・クラスだより、連絡帳などを通じ園児の好む本や読ませたい本の情報を提供しました。また、読み聞かせによる親子の触れあいの大切さを啓発しました。	B	保護者会、園・クラスだより、連絡帳などを通じ園児の好む本や読ませたい本の情報を提供しました。また、読み聞かせによる親子の触れあいの大切さを啓発しました。園児の発育に良い影響があったものと考えられます。	B	園児の発育に良い影響があると考えられるため。	
			親子で絵本を読むことの大切さを伝える 保育参観で、担任の絵本の読み聞かせを見ることにより、絵本の大切さに気付けるようにする	B	・子ども達から「この本、家にもあるよ」「この本、図書館でも借りたよ」との声が聞かれ、家庭でも、絵本に親しんでいる様子が伺えた。	B	来年度も、絵本の大切さを園より知らせていき、親子でふれあいながら絵本をみられるよう啓発していきたい	

「坂戸市子ども読書活」

計画期間における指標や事業の実績等ー

第2部 各論

第1章 家庭・地域、学校における子どもが

方向性	
A	拡大(新規含む)
B	継続
C	縮小(終了含む)
D	未定

学校等における推進	エ	新型コロナの影響により、書籍の消毒作業等に対応できていないため、今年度は実施できておりません。	D	新型コロナの影響により、書籍の消毒作業等に対応できていないため、今年度は実施できておりません。	D	新型コロナの状況により、実施について検討します。	
					D	新型コロナウイルス対策の心配がない場合は、検討したい	
		障害をもつ子どもに対し、本を介してふれあいながら読書への興味を養い、発達を図ります。	B	障害をもつ子どもに対し、本を介してふれあいながら読書への興味を養い、発達を図りました。園児の発育に良い影響があったものと考えられます。	B	園児の発育に良い影響があると考えられるため。	
		前年度と同じ	B	関心のある絵本を見ることにより、安定した気持ちで幼稚園で過ごせたり、幼稚園に来るのを楽しみにするようになった。	B	発達に遅れのある幼児にとって、絵本は大切なので、来年度も環境を整えていく	
	(2)小・中学校における推進	ア	読書教室にかわる事業として、読書週間記念おすすめ本のテーマ展示をおこない、各学校図書室でも同様の開催を依頼した(全校生徒にリストの配布を実施)	B	全校生徒にリストを配布したことにより、読書啓発となったと思われる。	B	学校図書室との連携の展示は、良書の幅広い周知につながる。
		イ					
		ウ					
		エ					
		オ	新型コロナウイルスの影響で、今年度は実施なし	D	新型コロナウイルスの影響で、今年度は実施なし	B	今後も学校図書室との連携は必要である。また各学校の様子を知る良い機会となっている
カ	不明	B	学校と連携し、実施できた		特別支援学級の先生から要望を聞き、個々の障害に応じた図書の提供を図る。		

「坂戸市子ども読書活」

計画期間における指標や事業の実績等ー

第2部 各論

第1章 家庭・地域、学校における子ども

方向性	
A	拡大(新規含む)
B	継続
C	縮小(終了含む)
D	未定

4 地域、 学校等 の連携・ 協力	ア	団体貸出サービスの実施	B	読書教室、読書朝会においては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、代替事業としてブックリスト配布を実施。	B	学校との連携は、教育的な観点からの読書啓発に効果的であり、欠かせないため。
		/	C	/	C	図書館で実施するボランティア研修会への参加を呼びかける。
	イ	/	/	/	D	必要に応じて実施について検討します。
		/	/	/	D	図書館と連携を行い、市立図書館職員による職員派遣等機会の検討を行う。
		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	D	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となったため。	B	読み聞かせボランティアの育成および図書館での読み聞かせボランティア活動への参加につなげていくため
	エ	1、埼玉県立大学及び埼玉大学並びに城西大学との相互貸借 ー実績値については、集計していない。 2、城西大学坂戸キャンパスの図書館、東洋大学川越キャンパスの図書館、大東文化大学東松山キャンパスの図書館の利用	B	1、相互貸借の合計件数は、同程度で推移していると見込まれる。 2、大学図書館の利用についてはPRが必要。	B	住民の学習の場を拡大し、幅広い調査研究、教育、文化の向上のために大学図書館等に所蔵されている専門書等を活用していく必要があるため
	オ	新型コロナウイルス対策で、今年度の「ビブリオバトル」は中止とした	C	新型コロナウイルス対策で、今年度の「ビブリオバトル」は中止とした	B	例年行っているビブリオバトルの開催方法等について検討が必要である。また、それ以外の連携・協力方法についても、検討をする必要がある。

「坂戸市子ども読書活動推進計画(第三次)(平成28年度～平成32年度)」事業実施状況調査結果

計画期間における指標や事業の実績等一覧

第2部 各論
第2章 子どもの読書活動を推進するための環境の整備・充実

記入日:令和2年10月
(図書館分については、令和2年10月～令和3年1月)

推進の柱	小柱	No.	計画掲載頁	具体的な施策	所管・関連部署	事業名	事業の概要
1 市立図書館の整備・充実	(1) 図書資料の整備・充実	ア	12	子どもの興味に応える、豊富で多彩な図書資料を計画的に整備します。	図書館	図書館資料整備事業	図書の資料収集
		イ		新刊書に加え、既刊書の購入も進めます。	図書館	図書館資料整備事業	図書の購入
		ウ		郷土資料のうち、児童向け資料の充実に努めます。	図書館	図書館資料整備事業	郷土資料の充実
		エ		展示などを通じて、青少年が本と出会う機会を拡充します。	図書館	ティーンズ展示 ティーンズ文庫コーナーの開設	中・高生向けの展示の実施 ティーンズに人気のライトノベル文庫のコーナーを設置運用している。
	(2) 設備等の整備・充実	ア	13	子どもの興味を喚起する新着コーナーやテーマ別の展示を行います。	図書館	月別展示(児童) ティーンズ展示	児童向けの図書展示の実施 中・高生向けの展示の実施
		イ		児童コーナーを充実させ、明るい雰囲気を利用しやすいものとします。	図書館		書架の整理、見直し
		ウ		計画的な改修、修繕により、安全で快適な施設を維持します。	図書館	図書館施設の整備	図書館施設整の維持・整備
	(3) 司書の充実	ア	13	司書の適切な配置に努めるとともに、研修等により専門的スキル向上を図ります。	図書館	司書の配置、研修参加	研修の実施、司書の配置
		イ		子どもや保護者の読書相談をはじめ、行事運営やブックリスト等の作成などに司書の知識技能を活かします。	図書館	読書相談、事業の企画 ブックリストの作成	・読書相談、簡易的レファレンス ・赤ちゃん絵本広場で配布する「あかちゃんといっしょにー0, 1, 2歳ー」と3歳児検診時に配付する「絵本だーい好きー3, 4, 5歳ー」の作成 ・おはなし会等の企画
	(4) 障害のある子どもたちのための諸条件の整備	ア	14	視覚障害者(児)向けに、音訳やデジジー資料、布の絵本の作成など資料の充実を図ります。またこのため音訳ボランティアの養成を進めます。	図書館	障害者サービス	音訳者自主グループの活動支援 布の絵本の作成
		イ		点字図書館などとの相互貸借を活用し、利用の拡充を図ります。	図書館	障害者サービス	相互貸借(全国の点字図書館と公共施設図書館を活用)
		ウ		肢体不自由者(児)向けには、ユニバーサル・デザインに基づき、段差解消など、車椅子をはじめ誰もが利用しやすい施設づくりに引き続き取り組みます。	図書館	図書館施設の整備	ユニバーサル・デザインに基づく図書館施設の整備
		エ		体が不自由で図書館まで来館できない子どもに対し、図書や音訳資料などの郵送サービスを行います。	図書館	障害児サービス	実施できていない

		オ	15	聴覚障害者(児)向けには、手話によるコミュニケーションが可能となるよう、研修などを通じ手話の習得に努めます。	図書館	手話研修	市役所の手話研修に参加			
		カ		読書活動の推進に協調して取り組むため、県立坂戸ろう学校との連携・協力を進めます。	図書館	職業訓練の受入れ ブックトーク 図書館見学				
					県立坂戸ろう学校		別紙「令和2年度 子どもの読書活動に関するアンケート【特別支援学校】」結果参照(質問10)			
2 学校図書館の整備・充実	(1) 図書資料の整備・充実	ア	15	「学校図書館図書基準」を満たしていない学校については、早期充足をめざし、図書資料の計画的な整備・充実を進めます。	学校教育課	学校図書館整備事業	児童生徒にとって必要な図書を購入し、学校図書館の充実を図ることで、児童生徒の知的活動を推進します。			
		イ		新刊書に加え、古くなった既刊書の買い替え等も進めます。	学校教育課	学校図書館整備事業	児童生徒にとって必要な図書を購入し、学校図書館の充実を図ることで、児童生徒の知的活動を推進します。			
	(2) 設備等の整備・充実	ア	16	学校図書館の設備等の整備・充実を引き続き進めます。	学校教育課	/	/			
					教育総務課	/	/			
					教育総務課(末広幼稚園)	絵本の部屋 (1階)	空き教室を利用して「絵本の部屋」とする。図書館から借りた本のコーナー等も設ける			
	(3) 司書教諭等学校図書館担当職員の充実	イ	16	学校図書館システムの効果的な運用を図ります。またこれにより学校図書館運営に関し、児童・生徒の自主性を育成します。	学校教育課	/	/			
					ア	16	司書教諭等学校図書館担当職員を中心とし、校内の意識醸成を進めるとともに、推進体制づくりに努めます。	学校教育課	/	/
					イ			読書活動支援員の適正配置により、児童・生徒の学校図書館利用の便に資するとともに、好ましい読書環境づくりを進めます。	学校教育課	学校支援員配置事業
	ウ	学校応援団等、読書活動に協力いただける地域ボランティアの活用を進めます。	学校教育課	/	/					
	(4) 障害のある子どもたちのための諸条件の整備	ア	17	個々の子どもに適した、きめ細やかな指導のための資料整備に努めます。	学校教育課	/	/			

「坂戸市子ども読書活動推し

計画期間における指標や事業の実績等一覧

第2部 各論
第2章 子どもの読書活動を推進するための環境

推進の柱	小柱	No.	平成28年度の事業実績	平成28年度の目標達成度	
			内容	達成度	達成度の理由
1 市立図書館の整備・充実	(1) 図書資料の整備・充実	ア	年間購入図書の34.9%児童図書の購入	B	計画的に図書の資料収集をした。利用頻度の高い本については、複本等の購入を検討し、多くの利用者に早めに提供出来るようにした。
		イ	新刊の購入及び既刊書の複本購入、買い換え等	B	毎週出版される新刊書の選定、及び必要に応じた既刊書の購入を行った。特に本の傷みがはげしい児童書は、その都度買い替えを行った。
		ウ	子ども向けの郷土資料の収集管理、郷土資料収集冊数287冊	C	新たに出版された子ども向けの郷土資料の収集管理に努めたが、子ども向けの郷土資料の出版が少ない。
		エ	中高生向け展示コーナーの実施 ティーンズ文庫の図書の購入	B	例年通り実施した
	(2) 設備等の整備・充実	ア	児童向け展示コーナーの設置 テーマ:あめのほん等 中高生向け展示コーナーの設置	B	例年通り実施した
		イ	日常業務での書架の整理、見直し	B	日常業務として行った。
		ウ	照明のLED化の設計	A	照明のLED化の設計を実施できた。
	(3) 司書の充実	ア	県立図書館等主催の研修に参加している。 司書の配置は8名	B	業務に合わせて参加した。
		イ	・窓口での読書相談 ・赤ちゃん絵本広場で配布する「あかちゃんといっしょにー0, 1, 2歳ー」リストの改訂 ・講演会等の開催	A	・窓口での読書相談、簡易的レファレンス。 ・赤ちゃん絵本広場で配布する「あかちゃんといっしょにー0, 1, 2歳ー」リストを改訂した ・さとうあきら氏講演会の開催(参加者89名)
	(4) 障害のある子どもたちのための諸条件の整備	ア	音訳者グループあすなろの活動 清の実会 布の絵本の作成	A	毎月1回実施し、音訳ボランティアの養成を進めることができた。 毎月2回実施し、布の絵本の作成を実施できた。
		イ	相互貸借	D	貸借なし
		ウ	/	D	/
		エ	実施できていない	D	実施できていない

		オ	正規職員は初級手話研修受講済み	C	図書館業務が多忙で、正規職員の再度の研修受講はできなかったため。
		カ	職業体験 2名	B	学校との連携が図れた
2 学校図書館の整備・充実	(1)図書資料の整備・充実	ア	図書の購入等整備を行いました。	B	必要な図書等を購入し整備・充実を進めました。 小学校 5,577冊 9,984,764円 中学校 2,829冊 4,942,302円
		イ	図書の購入等整備を行いました。	B	必要な図書等を購入し整備・充実を進めました。
	(2)設備等の整備・充実	ア			
		イ	なし		なし
	(3)司書教諭等学校図書館担当職員の充実	ア			
		イ	図書の購入等、教員と連携し、適切な授業準備や小学生に対し、読み聞かせ等を行いました。	B	読書活動支援員の適正な配置を行い、読書環境づくりを進めました。 小学校 12校配置 中学校 7校配置
		ウ			
	(4)障害のある子どもたちのための諸条件の整備	ア			

「坂戸市子ども読書活動推し」

計画期間における指標や事業の実績等一覧

第2部 各論
第2章 子どもの読書活動を推進するための環境

推進の柱	小柱	No.	平成29年度の事業実績		平成29年度の目標達成度		平成30年度の事業実績		平成30年度の目標達成度	
			内容	達成度	達成度の理由	内容	達成度	達成度の理由		
1 市立図書館の整備・充実	(1) 図書資料の整備・充実	ア	年間購入図書の31.2%児童図書の購入	B	計画的に図書の資料収集をした。利用頻度の高い本については、複本等の購入を検討し、多くの利用者に早めに提供出来るようにした。	年間購入図書の35.7%児童図書の購入	B	計画的に図書の資料収集をした。利用頻度の高い本については、複本等の購入を検討し、多くの利用者に早めに提供出来るようにした。		
		イ	新刊の購入及び既刊書の複本購入、買い換え等	B	毎週出版される新刊書の選定、及び必要に応じた既刊書の購入を行った。特に本の傷みがはげしい児童書は、その都度買い替えを行った。	新刊の購入及び既刊書の複本購入、買い換え	B	毎週出版される新刊書の選定、及び必要に応じた既刊書の購入を行った。特に本の傷みがはげしい児童書は、その都度買い替えを行った。		
		ウ	子ども向けの郷土資料の収集管理、郷土資料収集冊数166冊	C	新たに出版された子ども向けの郷土資料の収集管理に努めたが、子ども向けの郷土資料の出版が少ない。	子ども向けの郷土資料の収集管理、郷土資料収集冊数208冊	C	新たに出版された子ども向けの郷土資料の収集管理に努めたが、子ども向けの郷土資料の出版が少ない。		
		エ	中高生向け展示コーナーの設置 テーマ： など ティーンズ文庫の図書の購入	B	例年通り実施した	中高生向け展示コーナーの設置 ティーンズ文庫の図書の購入	B	例年通り実施した		
	(2) 設備等の整備・充実	ア	児童向け展示コーナーの設置 テーマ：おかしなほん等 中高生向け展示コーナーの設置	B	例年通り実施した	児童向け展示コーナーの設置 テーマ：だいすきをみつめてみよう等 中高生向け展示コーナーの設置	B	例年通り実施した		
		イ	日常業務での書架の整理、見直し	B	日常業務として行った。	日常業務での書架の整理、見直し	B	日常業務として行った。		
		ウ	照明のLED化(1期目)	A	実施できた。	照明のLED化(2期目)、外壁の改修	A	実施できた。		
	(3) 司書の充実	ア	県立図書館等主催の研修に参加している。司書の配置は8名	B	業務に合わせて参加した。	県立図書館等主催の研修に参加している。司書の配置は9名	B	業務に合わせて参加した。		
		イ	窓口での読書相談 講演会等の開催	A	窓口での読書相談、簡易的レファレンス 敷内竜太氏講演会の開催(80名)	窓口での読書相談 講演会等の開催	A	窓口での読書相談、簡易的レファレンス 演劇「二人芝居 宮澤賢治童話集」の開催(68名)		
	(4) 障害のある子どもたちのための諸条件の整備	ア	音訳者グループあすなろの活動 清の実会 布の絵本の作成	A	毎月1回実施し、音訳ボランティアの養成を進めることができた。 毎月2回実施し、布の絵本の作成を実施できた。	音訳者グループあすなろの活動 清の実会 布の絵本の作成	A	毎月1回実施し、音訳ボランティアの養成を進めることができた。 毎月2回実施し、布の絵本の作成を実施できた。		
		イ	相互貸借	D	貸借なし	相互貸借	D	貸借なし		
		ウ	/	D	/	/	D	/		
		エ	実施できていない	D	実施できていない	実施できていない	D	実施できていない		

		オ	正規職員は初級手話研修受講済み	C	図書館業務が多忙で、正規職員の再度の研修受講はできなかったため。	1名参加	B	参加者あり
		カ	中等部へのブックトークを実施	B	学校との連携が図れた	図書館見学	B	図書館見学:7名
2 学校図書館の整備・充実	(1)図書資料の整備・充実	ア	図書の購入等整備を行いました。	B	必要な図書等を購入し整備・充実を進めました。 小学校 5,735冊 9,977,539円 中学校 3,153冊 4,976,480円	図書の購入等整備を行いました。	B	必要な図書等を購入し整備・充実を進めました。 小学校 5,819冊 9,908,437円 中学校 3,098冊 4,960,432円
		イ	図書の購入等整備を行いました。	B	必要な図書等を購入し整備・充実を進めました。	図書の購入等整備を行いました。	B	必要な図書等を購入し整備・充実を進めました。
	(2)設備等の整備・充実	ア	なし		なし	なし	なし	なし
		イ						
	(3)司書教諭等学校図書館担当職員の充実	ア						
		イ	図書の購入等、教員と連携し、適切な授業準備や小学生に対し、読み聞かせ等を行いました。	B	読書活動支援員の適正な配置を行い、読書環境づくりを進めました。 小学校 12校配置 中学校 7校配置	図書の購入等、教員と連携し、適切な授業準備や小学生に対し、読み聞かせ等を行いました。	B	読書活動支援員の適正な配置を行い、読書環境づくりを進めました。 小学校 12校配置 中学校 7校配置
		ウ						
	(4)障害のある子どもたちのための諸条件の整備	ア						

「坂戸市子ども読書活動推し」

計画期間における指標や事業の実績等一覧

第2部 各論
第2章 子どもの読書活動を推進するための環境

推進の柱	小柱	No.	令和元年度の事業実績		令和元年度の目標達成度		令和2年度の事業実績		令和2年度の目標達成度	
			内容	達成度	達成度の理由	内容	達成度	達成度の理由		
1 市立図書館の整備・充実	(1) 図書資料の整備・充実	ア	年間購入図書の31%児童図書の購入	B	計画的に図書の資料収集をした。利用頻度の高い本については、複本等の購入を検討し、多くの利用者に早めに提供出来るようにした。					
		イ	新刊の購入及び既刊書の複本購入、買い換え	B	毎週出版される新刊書の選定、及び必要に応じた既刊書の購入を行った。特に本の傷みがはげしい児童書は、その都度買い替えを行った。	新刊の購入及び既刊書の複本購入、買い換え等	B	毎週出版される新刊書の選定、及び必要に応じた既刊書の購入を行った。特に本の傷みがはげしい児童書は、その都度買い替えを行った。		
		ウ	子ども向けの郷土資料の収集管理、郷土資料収集冊数251冊	C	新たに出版された子ども向けの郷土資料の収集管理に努めたが、子ども向けの郷土資料の出版が少ない。					
		エ	中高生向け展示コーナーの設置 ティーンズ文庫の図書の購入	B	例年通り実施した	中高生向け展示コーナーの設置 テーマ例：読書週間展示～日々のおともに読書はいかが～ ティーンズ文庫の図書の購入	B	コロナウイルス感染症拡大防止のため設置せず、10月末から再開。		
	(2) 設備等の整備・充実	ア	児童向け展示コーナーの設置 テーマ：はるがきたらさがしてみよう等 中高生向け展示コーナーの設置	B	例年通り実施した	児童向け展示コーナーの設置 テーマ：あきみつけたよ等 中高生向け展示コーナーの設置 テーマ例：読書週間展示～日々のおともに読書はいかが～	B	8月から実施を再開、現在も継続して実施。		
		イ	日常業務での書架の整理、見直し	B	日常業務として行った。	日常業務での書架の整理、見直し	B	日常業務として行っている		
		ウ	照明のLED化(3期目)	A	実施できた。	受水槽の撤去と直結直圧給水方式への変更	A	実施中。		
	(3) 司書の充実	ア	県立図書館等主催の研修に参加している。 司書の配置は8名	B	業務に合わせて参加した。	県立図書館等主催の研修に参加している。 司書の配置は7名		業務に合わせて参加した。		
		イ	窓口での読書相談 講演会等の開催	A	窓口での読書相談、簡易的レファレンス 人形劇場だだぶによる人形劇(52名)	窓口での読書相談	C	コロナ禍の中、多くの行事を中止した		
	(4) 障害のある子どもたちのための諸条件の整備	ア	音訳者グループあすなろの活動 清の実会 布の絵本の作成	A	毎月1回実施し、音訳ボランティアの養成を進めることができた。 毎月2回実施し、布の絵本の作成を実施できた。					
		イ	相互貸借	D	貸借なし	相互貸借	D	貸借なし		
		ウ	外階段に手すりを取り付けた。	A	外階段に手すりを取り付け、安全性に配慮した。	/	D	/		
		エ	実施できていない	D	実施できていない	実施できていない	D	実施できていない		

		オ	正規職員は初級手話研修受講済み	C	図書館業務が多忙で、正規職員の再度の研修受講はできなかったため。	正規職員は初級手話研修受講済み	C	図書館業務が多忙で、正規職員の再度の研修受講はできなかったため。
		カ	職業体験	B	職業体験 1名		B	11月にブックトーク、12月に図書館見学の依頼があったため実施予定
2 学校図書館の整備・充実	(1)図書資料の整備・充実	ア	図書の購入等整備を行いました。	B	必要な図書等を購入し整備・充実を進めました。 小学校 5,745冊 9,995,195円 中学校 3,021冊 4,986,155円	図書の購入等整備を行いました。	B	必要な図書等を購入し整備・充実を進めました。 R2.10.1現在 小学校 2,940冊 4,742,064円 中学校 1,249冊 2,026,291円
		イ	図書の購入等整備を行いました。	B	必要な図書等を購入し整備・充実を進めました。	図書の購入等整備を行いました。	B	必要な図書等を購入し整備・充実を進めました。
	(2)設備等の整備・充実	ア	浅羽野中学校図書室床改修	A	必要箇所の改修完了のため。	大家小学校図書室床改修	A	必要箇所の改修完了のため。
			なし		なし	空き教室を利用して「絵本の部屋」とする。 図書館から借りた本のコーナー等も設ける	B	コロナ対策としても、園児を保育室の他に分散させることができた。 園児が落ち着いた環境の中、好きな本を選んでみる事ができた。
		イ						
	(3)司書教諭等学校図書館担当職員の充実	ア						
		イ	図書の購入等、教員と連携し、適切な授業準備や小学生に対し、読み聞かせ等を行いました。	B	読書活動支援員の適正な配置を行い、読書環境づくりを進めました。 小学校 12校配置 中学校 7校配置	図書の購入等、教員と連携し、適切な授業準備や小学生に対し、読み聞かせ等を行いました。	B	読書活動支援員の適正な配置を行い、読書環境づくりを進めました。 小学校 12校配置 中学校 7校配置
		ウ						
	(4)障害のある子どもたちのための諸条件の整備	ア						

「坂戸市子ども読書活動推進」

計画期間における指標や事業の実績等一覧

第2部 各論
第2章 子どもの読書活動を推進するための環境

方向性	
A	拡大(新規含む)
B	継続
C	縮小(終了含む)
D	未定

↓

推進の柱	小柱	No.	令和年3年度の事業の方向性	
			方向性	方向性の理由
1 市立図書館の整備・充実	(1) 図書資料の整備・充実	ア	B	子どもたちの読書要求に応えられる資料を引き続き収集し、利用頻度の高い本については、複本等の購入を検討し、多くの利用者に早めに提供出来るようにしていく。
		イ	B	児童書の利用は、個人貸出にとどまらず、学校配本や保育園・幼稚園等への団体貸出を行うため、図書資料の消耗もあり、既刊資料の買い替え購入を引き続き行う。
		ウ	B	引き続き新たに出版された子ども向けの郷土資料の収集管理に努める。
		エ	B	読書離れがみられる中・高生における読書啓発は今度も必要と考えられるため継続。ティーンズ文庫の図書の購入の継続。
	(2) 設備等の整備・充実	ア	B	利用者への読書啓発につながる事が考えられるため、引き続きの実施が必要。
		イ	B	書架の見直しを行うことで利用者が利用しやすい書架が提供できるほか、所蔵状況の確認などにつながるため、引き続き定常的な実施が必要。
		ウ	B	高圧機器改修工事予定
	(3) 司書の充実	ア	B	利用者と資料を結ぶ職員の役割を自覚し、さらなる知識、技術、経験を積み重ねていくために、司書はもとより職員全員の研鑽、研修が求められる。
		イ	A	読書啓発、読書推進のための行事をサービス計画に基づき、今後も実施する。
	(4) 障害のある子どもたちのための諸条件の整備	ア		
		イ	B	こども向けのサービス利用について広報やホームページ等で更なる周知と幼稚園・学校・市民健康センターなどとの連携を図る。
		ウ	B	今後、二階トイレの段差の解消を検討する必要がある。
エ		D	電子書籍の購入により、サービスの拡大を図る	

		オ		研修の機会があれば受講
		カ		学校の依頼により実施予定
2 学校図書館の整備・充実	(1)図書資料の整備・充実	ア	B	必要な図書等を購入し、整備・充実を継続して進めます。
		イ	B	必要な図書等を購入し、整備・充実を継続して進めます。
	(2)設備等の整備・充実	ア	D	
			B	おすすめ絵本コーナー・季節の絵本コーナー・図書館コーナーなど整備し、充実につなげたい。
		イ		
	(3)司書教諭等学校図書館担当職員の充実	ア		
		イ	B	読書活動支援員の適正な配置を行い、読書環境づくりを継続して進めます。
		ウ		
	(4)障害のある子どもたちのための諸条件の整備	ア		

「坂戸市子ども読書活動推進計画(第三次)(平成28年度～平成32年度)」事業実施状況調査結果

計画期間における指標や事業の実績等一覧

記入日:令和2年10月
(図書館分については、令和2年10月～令和3年1月)

第2部 各論
第3章 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

推進の柱	No.	計画掲載頁	具体的な施策	所管・関連部署	事業名	事業の概要
1「子ども読書の日」を中心とした啓発・広報	ア	18	市立図書館や学校等で「子ども読書の日」を中心とした催しや様々な企画をさらに推進します。またそれを広くPRします。	図書館	子ども読書の日、こどもの読書週間にあわせた事業	「子ども読書の日」記念事業
				学校教育課	/	/
	イ		市広報や図書館のホームページ、図書館だよりに、子ども読書活動の大切さに関する啓発記事を掲載し、図書情報やイベント情報を発信します。	図書館	子ども読書活動推進事業	子ども読書活動の啓発
2 優良な図書の普及	ア	18	ブックリスト「絵本だーい好き」について、乳児向けに加え、3・4・5歳の幼児向け版についても発行します。	図書館	3歳児検診におけるおすすめリストの配布	3歳児検診におけるおすすめリストの作成、配布
				図書館	子ども読書活動推進事業 優良図書のリストの配布やすすめる本のリストの作製・配布	新着図書案内の紹介「あたらしい本」のリストの作成等
	イ		学校等や公民館などに対する推薦図書リストの配布や新着本の紹介を充実します。	図書館		

「坂戸市子ども読書活動推進計画」

計画期間における指標や事業の実績等一覧

第2部 各論
第3章 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

達成度	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな成果を得ることができた
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった

↓

推進の柱	No.	平成28年度の事業実績	平成28年度の目標達成度	
		内容	達成度	達成度の理由
1「子ども読書の日」を中心とした啓発・広報	ア	子どもの読書の日イベント(みんなのお楽しみ会、わらべうたおはなし会を実施した。参加者69名。)	B	定期おはなし会には、参加していない利用者の参加があった。
	イ	広報さかど等に図書情報やイベント情報を掲載	B	広報さかど等に図書情報やイベント情報を掲載し、子どもの読書の大切さを伝えた。
2 優良な図書の普及	ア	市民健康センターでのリストの配布	B	市民健康センターと協力し、例年通り配布ができた
	イ	「あたらし本」のリスト作成配布及び入学おすすめ図書リストを作成配布	C	図書館に入った新しい図書の紹介リストを作成し、市内全小学校に配布し、学校図書室等で活用してもらった。また、市内中学生を対象に入学時おすすめ図書リストを作成配布し、子ども読書推進に活用してもらった。公民館へは配布を行っていない。

「坂戸市子ども読書活動推進計画」

計画期間における指標や事業の実績等一覧

第2部 各論

第3章 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

推進の柱	No.	平成29年度の事業実績	平成29年度の目標達成度	
		内容	達成度	達成度の理由
1「子ども読書の日」を中心とした啓発・広報	ア	子どもの読書の日イベント(絵本で子育て講演会、わらべうたおはなし会)を実施した。参加者54名	B	定期おはなし会には、参加していない利用者の参加があった。
	イ	広報さかど等に図書情報やイベント情報を掲載	B	広報さかど等に図書情報やイベント情報を掲載し、子どもの読書の大切さを伝えた。
2 優良な図書の普及	ア	おすすめ本リストの作成(1,300部) 市民健康センターでのリストの配布	B	市民健康センターと協力し、例年通り配布ができた
	イ	「あたらし本」のリスト作成配布及び入学おすすめ図書リストを作成配布	C	図書館に入った新しい図書の紹介リストを作成し、市内全小学校に配布し、学校図書室等で活用してもらった。また、市内中学生を対象に入学時おすすめ図書リストを作成配布し、子ども読書推進に活用してもらった。公民館へは配布を行っていない。

「坂戸市子ども読書活動推進計画」

計画期間における指標や事業の実績等一覧

第2部 各論

第3章 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

推進の柱	No.	平成30年度の事業実績	平成30年度の目標達成度	
		内容	達成度	達成度の理由
1「子ども読書の日」を中心とした啓発・広報	ア	子どもの読書の日イベント(わらべうたおはなし会)を実施した。参加者35名	B	定期おはなし会には、参加していない利用者の参加があった。
	イ	広報さかど等に図書情報やイベント情報を掲載	B	広報さかど等に図書情報やイベント情報を掲載し、子どもの読書の大切さを伝えた。
2 優良な図書の普及	ア	市民健康センターでのリストの配布	B	市民健康センターと協力し、例年通り配布ができた
	イ	「あたらし本」のリスト作成配布及び入学おすすめ図書リストを作成配布	C	図書館に入った新しい図書の紹介リストを作成し、市内全小学校に配布し、学校図書室等で活用してもらった。また、市内中学生を対象に入学時おすすめ図書リストを作成配布し、子ども読書推進に活用してもらった。公民館へは配布を行っていない。

「坂戸市子ども読書活動推進計画」

計画期間における指標や事業の実績等一覧

第2部 各論

第3章 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

推進の柱	No.	令和元年度の事業実績	令和元年度の目標達成度	
		内容	達成度	達成度の理由
1 「子ども読書の日」を中心とした啓発・広報	ア	子どもの読書の日イベント(わらべうたおはなし会)を実施した。参加者23名	B	定期おはなし会には、参加していない利用者の参加があった。
	イ	広報さかど等に図書情報やイベント情報を掲載	B	広報さかど等に図書情報やイベント情報を掲載し、子どもの読書の大切さを伝えた。
2 優良な図書の普及	ア	市民健康センターでの配布	B	市民健康センターと協力し、例年通り配布ができた
	イ	「あたらしい本」のリスト作成配布及び入学おすすめ図書リストを作成配布	C	図書館に入った新しい図書の紹介リストを作成し、市内全小学校に配布し、学校図書室等で活用してもらった。また、市内中学生を対象に入学時おすすめ図書リストを作成配布し、子ども読書推進に活用してもらった。公民館へは配布を行っていない。

「坂戸市子ども読書活動推進計画」

計画期間における指標や事業の実績等一覧

第2部 各論
第3章 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

方向性	
A	拡大(新規含む)
B	継続
C	縮小(終了含む)
D	未定

↓

推進の柱	No.	令和2年度の事業実績	令和2年度の目標達成度		令和3年度の事業の方向性	
		内容	達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
1「子ども読書の日」を中心とした啓発・広報	ア	コロナ感染防止のため、図書館は休館していた	C	コロナ感染防止のため、図書館は休館していた	C	全世代が子どもの読書環境について考えるきっかけとなるよう「子ども読書の日」イベントを実施する必要がある。
	イ	紙芝居の動画配信	C	坂戸のむかしばなしと創作物語を紙芝居動画にし配信を行った。	B	今後も引き続き、広報さかどや図書館のホームページ等で本で図書情報やイベント情報を掲載していく。
2 優良な図書の普及	ア	おすすめ本リストの作成(1,300部予定) 市民健康センターでのリストの配布	B	10月1日現在、市民健康センターと協力し、リストを配布することができているため	B	市民健康センターと連携し配布予定。
	イ	おすすめブックリストの配布	B	図書館の読書週間展示にあわせ市内全小学校へおすすめブックリストを配布した。	B	今後も引き続き継続し、子ども読書の推進に活用してもらえるよう図書の案内をすすめるため。

「坂戸市子ども読書活動推進計画(第三次)(平成28年度～平成32年度)」事業実施状況調査結果

計画期間における指標や事業の実績等一覧

記入日: 令和2年10月
(図書館分については、令和2年10月～令和3年1月)

第2部 各論
第4章 子どもが読書に親しむための推進体制の整備

達成度	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな成果を得ることができた
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった

No.	計画掲載頁	具体的な施策	所管・関連部署	事業名	事業の概要	平成28年度の事業実績	平成28年度の目標達成度		平成29年度の事業実績	平成29年度の目標達成度	
						内容	達成度	達成度の理由	内容	達成度	達成度の理由
ア	19	子どもの読書活動の実践については、図書館協議会において毎年度推進状況について協議し、翌年度に反映します。	図書館	図書館協議会への報告	子ども読書活動の推進状況について、図書館協議会において協議し、翌年度に反映する	図書館協議会において一部の事業の進捗状況について報告した。	C	図書館協議会において一部の事業の進捗状況について報告したが、計画全体の推進状況について協議せず、翌年度に反映しなかった	図書館協議会において一部の事業の進捗状況について報告した。	C	図書館協議会において一部の事業の進捗状況について報告したが、計画全体の推進状況について協議せず、翌年度に反映しなかった
イ	19	計画推進にあたっては、利用者や子どもへのアンケートなどを適宜実施し、意向把握に努めます。	図書館	計画推進のための調査実施	計画推進にあたり、アンケートや各調査を実施する	—	C	隔年でアンケート調査を実施したが、計画推進のために利用者や子どもへのアンケートなどを実施しなかった	—	C	隔年でアンケート調査を実施したが、計画推進のために利用者や子どもへのアンケートなどを実施しなかった

方向性	
A	拡大(新規含む)
B	継続
C	縮小(終了含む)
D	未定

平成30年度の事業実績 内容	平成30年度の目標達成度		令和元年度の事業実績 内容	令和元年度の目標達成度		令和2年度の事業実績 内容	令和2年度の目標達成度		令和3年度の事業の方向性	
	達成度	達成度の理由		達成度	達成度の理由		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
図書館協議会において一部の事業の進捗状況について報告した。	C	図書館協議会において一部の事業の進捗状況について報告したが、計画全体の推進状況について協議せず、翌年度に反映もしなかった	図書館協議会において一部の事業の進捗状況について報告した。	C	図書館協議会において一部の事業の進捗状況について報告したが、計画全体の推進状況について協議せず、翌年度に反映もしなかった	第3次「子ども読書活動推進計画」における事業実績と第4次「子ども読書活動推進計画」にて取り組むべき施策の検討のため、「坂戸市子ども読書活動推進計画(第3次)」事業実施状況調査及び「令和2年度子どもの読書活動に関するアンケート」を実施できた。	B	①「坂戸市子ども読書活動推進計画(第3次)」事業実施状況調査を実施し、計画の各項目について、関係部署・関係機関(計画推進に係る市の各部署や関係機関など)がその取り組みについて自己評価することができたため。 ②「令和2年度子どもの読書活動に関するアンケート」を実施し、関係機関(保育園～大学、児童センター、公民館等の計画推進に係る機関)から回答が得られたため。 ③上記①②の結果を令和2年度中に、図書館協議会にて報告する予定であるため。	B	①毎年度、「坂戸市子ども読書活動推進計画(第4次)」事業実施状況調査を実施し、計画の各項目について、関係部署・関係機関(計画推進に係る市の各部署や関係機関など)がその取り組みについて自己評価する仕組みを確立する。 ②計画的に「子どもの読書活動に関するアンケート」を実施し、関係機関(保育園～大学、児童センター、公民館等の計画推進に係る機関)の実態把握に努める。 ③上記①②などの経過や結果を図書館協議会にて報告し、協議の上、翌年度に反映することが計画推進のために必要不可欠であるため。
—	C	隔年でアンケート調査を実施したが、計画推進のために利用者や子どもへのアンケートなどを実施しなかった	—	C	隔年でアンケート調査を実施したが、計画推進のために利用者や子どもへのアンケートなどを実施しなかった	「令和2年度児童・生徒の読書の状況に関する調査」(市内小学4年生～中学3年生対象)を実施予定である。	C	「令和2年度児童・生徒の読書の状況に関する調査」において、児童・生徒の読書の状況を調査する準備を進めていたが、コロナ禍により紙ベースの調査実施を延期したため。	B	計画推進のため、令和3年度以降、計画的に各調査を実施し、実態や意向の把握に努める必要があるため。(コロナ禍において、GIGAスクールの端末を活用しての調査実施を検討する。)